



こうとう 区報

NO. 2016

令和元年(2019年) 8/1
東京2020大会特集号
発行:江東区/編集:広報広聴課
〒135-8383 江東区東陽四丁目11-28
https://www.city.koto.lg.jp
☎3647-9111(代) FAX5634-7538



東京2020大会まであと1年

夢の祭典迫る!

メダリスト特別対談(4面)

シドニーオリンピック 銀・銅メダリスト 回シドニー・リオパラリンピック 銀・銅メダリスト

中村真衣さん × 木村敬一さん

区内で開催される20競技・地元から大会を盛り上げる取り組みを紹介(2・3面)



1 Year to Go!

開催まであと1年!

メダリスト特別対談 中村真衣さん × 木村敬一さん

来年7月24日にオリンピックが、8月25日にパラリンピックが開幕します。大会まであと1年に迫った今、水泳競技で世界で活躍されてきたお二人に、自身の経験談や大会にかける思いを語っていただきました。

中村真衣さん

4歳からJSS長岡に通い始め、中学3年生で100m背泳ぎ初優勝、日本代表入りを果たす。高校2年生時には1996年アトランタオリンピックに出場し、同種目4位入賞。中央大学法学部に進学後、3年生時には2000年シドニーオリンピックに出場、同種目で銀メダルを獲得。女子4×100mメドレーリレーでも銅メダルを獲得した。2007年世界選手権を最後に引退。現在は、水泳指導を中心に活動しながら、日本オリンピック委員会のイベントなどに積極的に参加しスポーツの普及振興につとめている。

—さまざまな大会でご活躍されているお二人ですが、まずは水泳競技を始めた時期やきっかけを教えてください。

中村真衣さん(以下、中村) 10歳からです。もともと体を動かすことが好きだったのですが、どうしてもぶつかってケガをすることが多かったんです。そこで母が、プールの中だったら囲われているので安全ではないかと考え、近くのスイミングスクールに申し込んだのが始まりでした。

中村真衣さん(以下、中村) 私は4歳のころに。実は母も国体やインターハイに出るような水泳の選手でした。ただ、選手にさせるつもりはなく、プールや海と一緒に遊べたらいいと思い、私を近くのスイミングスクールに入れたと聞いています。当時の先生が言うには、常に泣いていて、プールに入ると大変だったと。始めた当時は水が好きな女の子ではなかったみたいです。

—それでもその後選手として記録を伸ばす中で楽しくなっていたのですか？

中村 そうですね。小学校5年生くらいまでは楽しくて仕方がなかったですね。水泳仲間が常に合宿とか遠征とか一緒にしていましたし、練習もすごく楽しんでいました。

些細な気持ちが夢や目標に

—お二人とも最初にオリンピック・パラリンピックに出られたのは10代のときですね。

中村 高校3年生のときですが、実はあまり覚えていないんです。ずっと出たいと思い続けていたので、出場できたことに満足してしまっただけでした。他の国際大会では観客や取材も少なく、全然注目もされていなかったんですけど、パラリンピックになったらたくさん注目してもらえましたし、スケールの大きさを感じました。

中村 私も一緒です。夢の舞台に出られるようになったところで満足してしまっただけがありました。当時、選考会のときに日本女子のメンバーが世界ランキング1位という結果を出し、金メダルを獲得すると期待されていたのにメダル数ゼロ。私も最高順位が4位でした。マスコミの方も結果が残せないといなくなってしまうんです。メダルを獲らなきゃ認められないんだというのを感じましたね。

—メダルの話が出ましたが、本日お二人にお持ちいただいています。

中村 メダルがこんなに並ぶのは、あまりないですね。

木村 そうですね。シドニーのメダルと並ぶなんて思わなかったです。

—リオパラリンピックのメダルは振ると音が鳴ると聞きました。

中村 メダルの色で音が違うんですか？

木村 そうですね。今は振りすぎてしまいきれいな音で鳴らなくなってきました(笑)。

中村 木村選手のメダルもいろいろな方に触ってもらっていますからね。(水泳教室などで)私も全国を回るときには必ずメダルをこどもたちに触ってもらいます。たぶん触った瞬間にいろいろなことを感じていると思うんです。夢や目標は人が与えるものではなく、良いとかか、カッコいいとか些細な気持ちが大きな目標や夢になります。



▲実際にメダルの音を聞いてみる中村さん

東京2020大会へ向けて

—来年に迫った東京2020大会への思いを聞かせてください。

中村 自分の国で世界一大きいスポーツのイベントがあること、それを現役選手として迎えられることは本当に運がいいと思っています。その瞬間の幸せを噛み締めたい。また、金メダルが獲れずここまで来ているので、東京で獲りたいと強く思っています。

中村 選手には想像以上のプレッシャーがかかると思いますが、木村選手はそれをプラスにしているというので、すごい精神力の強さだなと感じます。また、東京2020大会を通過点に、日本のスポーツ環境がより良い方向に変わっていったらいいですね。

—来年に向けて木村選手はアメリカを拠点にトレーニングをされています。

木村 寮に一人で住んでいるので、なにかがあっても自分でしなければいけないですね。言葉も大問題です。

中村 私も水泳で1年留学していたんですが、「1年もいると大分話せるでしょ」といわれるんですけど意外とそうでもないですよ。木村 泳ぎ始めればしゃべらなくていいんですけどね(笑)。
中村 わかります(笑)。でも、あえてその環境に飛び込んでいくというのは素晴らしいですね。日本でやれば、言葉の面では困らないわけですから。



木村敬一さん(東京ガス株式会社所属)

2歳の時に病気のため視力を失う。小学4年生から水泳を始め、単身上京した筑波大付属盲学校(現・筑波大学付属視覚特別支援学校)で水泳部に所属し着実に実力をつけ頭角を現す。2012年ロンドンパラリンピックで銀・銅1つずつのメダルを取り、前回の2016年リオパラリンピックでは日本人最多の銀2つ銅2つのメダルを獲得した。2018年春よりアメリカに練習拠点を移し、東京2020大会でのベストパフォーマンスを目指し、トレーニングに励んでいる。クラスはS11、SB11、SM11。

選手が戦う姿を観てほしい

—大会に向け、区民の方にこう関わってほしいということがあれば教えてください。

中村 ボランティアなどおもてなしの面でも関わっていただけたらと思いますが、単純に競技を観に来てくれればうれしいなと思います。

中村 私の地元は新潟県長岡市ですが、江東区は競技会場が10会場もあって、地方からするとうらやましい。いろいろなことができると思いますし、戦う姿を観て、肌で感じてもらえたらいいです。

中村 障害を持っている中でも、これだけ強くなれる・速く泳げるという、人としての可能性に直接触れる機会になると思うんです。それこそがパラリンピックの魅力だと思うんですよ。あとは、私が所属する東京ガスでも、豊洲で1年前イベントを行います。そこではパラスポーツの体験もできますので、ぜひ足を運んでいただき、どんな人たちがどういう競技をしているのかを体感してから観戦すると、一歩踏み込んだ楽しみ方ができると思います。

中村 0.01秒の戦いなので、選手は命を懸けていると思います。オリンピックの競泳は4×100m男女の混合メドレーリレーなどの種目が増え、見所も増えると思いますし、競泳チームは強くなっているので、応援していただけたらと思いますね。

—最後に、こどもたちへメッセージを。

中村 スポーツが得意な子は選手の戦う姿を観て、将来そういう世界で戦いたいと思ってもらったり、スポーツに興味があっても、たくさんの海外の方が来ますので、英語を話したいとか、世界で活躍できる仕事者がしたいとか、いろいろなことを感じさせてくれるオリンピック・パラリンピックだと思います。ぜひ選手の戦う姿を観ていただきたいです。

中村 どの選手もオリンピック・パラリンピックのためにがんばってきています。世界で一番強いアスリートが集まり、競い合う瞬間を目にすることのできる貴重な機会です。ぜひ一度観て、触れて、面白さを感じたとしても、その世界にもっと踏み込んでもらいたいと思います。大人になった際にもこれらの経験は役立つことがきっとあるはずですよ。—本日はありがとうございました。



江東区内10会場で20競技を実施

オリンピック開催期間
2020年7/24(金)～8/9(日)

パラリンピック開催期間
2020年8/25(火)～9/6(日)



リード・ボルダリング・スピードの3種目があり、それぞれ持久力・瞬発力・速さと求められるものも違います。同じ種目でも選手によって攻略の仕方が違うのも見所です。東京2020大会へ向けて、今月に予選会である世界選手権に出場します。皆さんの声援を力にかけて日の丸を掲げます。

野中生萌さん
(スポーツクライミング日本代表、
オリンピック強化選手)



3×3の魅力はスピード・パワーなど迫力ある試合を間近で見られることです。3人制バスケットならではの戦略をお楽しみください。

下田修介さん
(3人制バスケットリーグ
B3. EXE PREMIER
江東フェニックス所属)



時速60キロ以上で急な坂を駆け下りるスタートや、コーナーでの駆け引き、そして大きなジャンプが魅力です!

古家清貴くん・詩音くん
(全日本BMX選手権優勝・BMX日本代表)

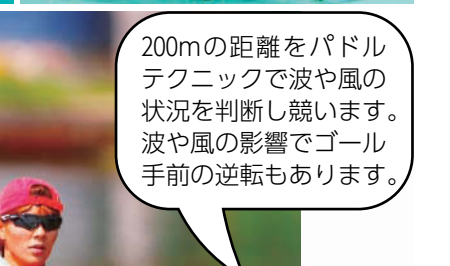
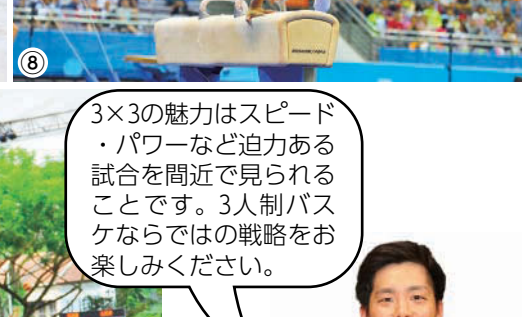


視覚障害3、身体障害10、知的障害1のクラスに分かれ、選手たちはフェアな条件で道具を使わずに戦います。

木村敬一さん
(東京ガス株式会社所属)



写真: フォート・キシモト



200mの距離をパドルテクニックで波や風の状況を判断し競います。波や風の影響でゴール手前の逆転もあります。

濱田美穂さん
(シドニー(セーリング)
北京(ボート)
パラリンピック代表)
※現在はカヌーで出場を目指す

オリンピック 区内実施競技日程

競技	種別	会場	2020年7月							8月								
			24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8
①	スポーツクライミング	E																
②	カヌー	G																
③	スケートボード	C																
④	バレーボール	A																
⑤	テニス	D																
⑥	水泳	I																
	飛込																	
	アーティスティックスイミング																	
⑦	馬術	J																
⑧	体操	B																
	新体操																	
⑨	バスケットボール	E																
⑩	自転車競技	C																
⑪	ボート	G																
⑫	アーチェリー	H																



- A 有明アリーナ
- B 有明体操競技場
- C 有明アーバンスポーツパーク
- D 有明テニスの森
- E 青海アーバンスポーツパーク
- F 海の森クロスカントリーコース
- G 海の森水上競技場
- H 夢の島公園アーチェリー場
- I 東京アクアティクスセンター
- J 東京辰巳国際水泳場

パラリンピック 区内実施競技日程

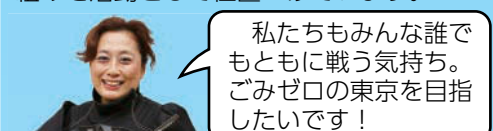
競技	会場	2020年8月						9月									
		25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6			
⑬	水泳	I															
⑭	車いすバスケットボール	A															
⑮	ボート	G															
⑯	5人制サッカー	E															
⑰	アーチェリー	H															
⑱	ボッチャ	B															
⑲	車いすテニス	D															
⑳	カヌー	G															

地元から大会を盛り上げる!

大会に向けた区の取り組みの一部と、参加者などからいただいた意気込みや感想をご紹介します。

区独自ボランティア 江東サポーターズ

多くの区民に大会へ携わってもらうことを目指し、区独自ボランティアを募集しています。誰でも参加できるように、イベント行事や清掃活動、打ち水など幅広い取り組みを活動として位置づけています。



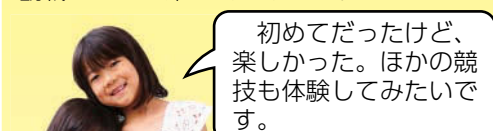
私たちがみんな誰でもともに戦う気持ち。ごみゼロの東京を目指したいです!



写真は、「リアルライフローラー」北の地区での清掃活動

競技体験イベント

区内の実施競技を知り、体験できる催しとして「KOTOスポーツキャラバンto東京2020」や「障害者スポーツフェスタ」などを開催しています。競技の魅力を知ることによって観戦がもっと楽しくなります。

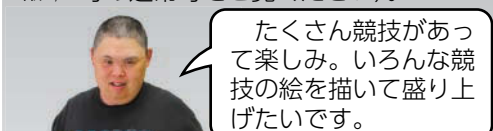


初めてだったけど、楽しかった。ほかの競技も体験してみたいです。



kotoハートフルアート展

障害のある多くの方が大会に関われるよう、スポーツなどを題材としたアート作品を募集します。作品は区内で巡回展示し、大会への関心を高めます(募集の詳細は区報8/1号の通常号をご覧ください)。

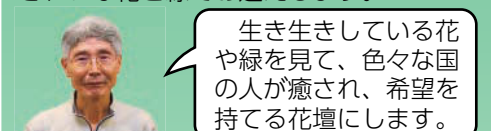


たくさん競技があって楽しかった。いろんな競技の絵を描いて盛り上げたいです。



東京2020大会に向けた花と緑のおもてなしガーデニング講座

ガーデニングの基本などを学んだのち、競技会場に近い公園で花苗の植え付けをして、彩り豊かなおもてなしガーデンを作っています。江東を訪れるたくさんの方をきれいな花と緑で迎えます。

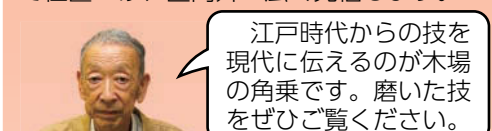


生き生きしている花や緑を見て、色々な国の人が癒され、希望を育てる花壇にします。



江東区文化プログラム

オリンピック・パラリンピックは文化の祭典でもあります。世界から注目が集まるこの時期に、江東区が誇る魅力あふれる文化・芸術活動を「江東区文化プログラム」として位置づけ、区内外へ広く発信します。



江戸時代からの技を現代に伝えるのが木場の角屋です。磨いた技をぜひご覧ください。



加藤元一さん
(東京木場角屋保存会会長)

未来を担うこどもたちへ

オリンピック・パラリンピック教育を推進し、こどもたちが大会に関わり、夢や将来への可能性を広げることを目指しています。2020年をこどもたちの心に確かに刻み、未来につながる歴史の瞬間にするためにサポートしていきます。

江東区にオリンピック・パラリンピックがやってくる

パナソニックセンター東京(有明3)で、オリンピック・パラリンピックの起源や、聖火などの基礎知識の学習などを行います。また、区内の競技会場をバスで巡り、興味・関心を高めます。

こどもたちの感想

- たくさんの国の人が、江東区に来てくれるのが分かって、楽しくなりました。
- (競技場)はまだ完成だけど、これから大きくなっていくのが楽しみです。



部活動☆夢応援プロジェクト

区立中学校等の部活動から「夢」を募集。各校1つの部活動に夢の実現のサポートとしてオリンピック・パラリンピアンやその道の達人たちを招き、生徒たちが直接指導を受けます。

こどもたちの感想

- 質の高い練習ができた。大切なことを教えてもらった。
- オリンピックに教えてもらえる機会は減まないと思うので、この経験を忘れずにがんばりたい。

